2020 年 1 月 21 日　西日本新聞

九州+ きゅうたす

☎099(222)9255
FAX099(222)9257
☎0985(25)1331
FAX0985(25)1399

高齢者や障害者向け観光情報誌

「そらよか九州」創刊

バリアフリー施設を紹介

旅行をしたいと考えている高齢者や障害者向けに、九州7県のバリアフリー施設を掲載した無料の観光情報誌「そらよか九州」が創刊された。手がけたのは、NPO法人バリアフリーネットワーク会議（沖縄県沖縄市）。同法人は「お年寄りや障害者が外出するきっかけづくりになれば」と期待しており、各県の観光協会や社会福祉協議会などに配布する。

昨年12月の創刊号（B5判、全92ページ）は発行部数5万部。各県のバリアフリーに対応した約200の宿泊施設を一覧にして載せているほか、主な飲食店や商業施設について点字ブロックや車椅子対応のトイレの有無も記載。障害者割引が適用される公共交通機関や観光地、緊急時の医療電話相談窓口も紹介している。

バリアフリー情報を掲載している「そらよか九州」

NPOが無料配布「外出のきっかけに」

制作には九州産業大（福岡市）の学生も加わり、実際に福岡県内の飲食店や観光地を訪れ、バリアフリーの状況を調査した。同法人が昨年11月に福岡市の福岡空港に開設した、介護用品の貸し出しなどを行う「福岡空港しょうがい者・こうれい者観光案内所」にも置いてあり、だれでも持ち帰ることができる。

「そらよか九州を活用し、九州での旅行を楽しんでもらえれば」と、同法人の嶋田英史さん(45)。今後も情報量を増やしながら年1回程度、発行を続ける予定で、送料を負担すれば郵送も可能。問い合わせは福岡空港しょうがい者・こうれい者観光案内所＝092（624）0888。

（小林稔子）